

## 今週の活動から



1月14日(土)、南毛利地区賀詞交歓会が厚木商工会議所で開催されました。この日は地域にいる市議会議員を代表して釘丸議員が挨拶しました。後ろにあるランニングは、1月29日に行われるあつき駅伝の南毛利チームのユニフォームです。今年は3チームが出場します。(釘丸久子議員)



総合福祉センターの改修工事が終わり、これまで保健センターに間借りしていたひよこ園やたんぽぽ教室が戻ってきました。5階の療育相談センター「まめの木」は、入り口を木材で飾り、中にあるのはジャックの豆の木? 明るくさわやかなコーナーです。(栗山香代子議員)

## 1月の法律相談

1月24日(火) 1時半～  
前日迄の連絡を!

# 第47回厚木市社会福祉大会 開かれる 誰でも「だれかの大切な人」

1月14日(土)の午前、総合福祉センターで、第47回社会福祉大会が開かれました。社会・地域福祉に貢献したとして、地域の団体の役員、家族の介護、施設での介護業務や保育業務に従事した方や民生・児童委員、老人クラブやボランティアの方等に、市長及び社会福祉協議会会長の表彰がありました。また、多額の金員等を寄付した団体・個人に対し感謝状が贈られました。

最後に、福祉作文を作者本人が朗読します。小学生の部では『みんなはだれかの大切な人』。発達障害(「ひととき大きな個性」)を持つ弟との日常の中で、お母さんが、愛情をいっぱいあげてなかくしてくれていたのが、弟に一番きく薬だと教えてくれました。自分にとって弟は大切な人。弟の小学校への入学を前に、みんながだれかの大切な人だから、ちよっと変わっている子とも仲よくしよう!と。

中学生の部は『祖母との会話』です。埼玉で一人暮らしをしている祖母が認知症になり、いろいろ考えた末にヘルパーさんに来てもらうことになりました。困っている人たちを支えていける社会をつくらなくては。今の僕にできるのは、時々、祖母に電話をすること。

「おばあちゃん元気?」「元気だよ。いくつになったの?」が繰り返されます。(「こころ」で作文は終わっているが、当日付け加えられた。)祖母は帰らぬ人となり、この作文を封筒に入れて棺に納めました。

読み終わって会場がジーンとなる空気。文字を見るだけでなく、本人の朗読だと伝わるものがあります。それぞれの作文が終わると、温かく力強い拍手が起りました。

いろいろな場面で「困った」があります。それらを解決するために行政があり、また、人と人とのつながりが大きな力を発揮します。家族だけで抱え込まずに、誰かに相談することが大事です。

## 話題あれこれ

### 厚木市立病院建設工事に伴う近隣住民説明会

厚木市立病院では、昨年11月7日に医療部門がすべて整い、残る外構整備工事の完了後、4月に全面オープンのはずでした。が、解体する外来棟・本館棟に想定以上のアスベストがあることがわかり、その対応のため工期が延長されることになりました。

病院建設が始まってから、近隣住民に説明会を開いています。17回目となる1月14日(土)は特定建築材料等(アスベスト)についての説明がありました。

アスベストは発塵の度合いに応じて3種類の作業レベルに分けられます。今回の解体では発塵性が著しく高いレベル1ではなく、床材や内装材に使われていて発塵性が比較的低いレベル3と、断熱材・保温材の発塵性が高いレベル2の作業となります。アスベストの繊維の本数は1リットル当たり10本が基準値ですが、敷地の4隅と解体場所近くでの測定では、解体作業前の値は1〜4本/リットル、作業中は15本、解体作業後は1〜4本であり、作業前後の数値は変わっていません。運送中にアスベストが飛散しないよう解体現場で梱包・密封し、直接、最終処分場(仙台、横須賀)に運びます。



解体中の旧外来棟

また解体作業等には事前に県への届出が必要です。参加者からは、アスベストだけでなく、解体に伴うほこりや振動、現場の覆いについての実態と要望、新病院の待合ロビーの寒さや照明についての意見もありました。

アスベスト対応でどれほどの延期になるのかは未定ですが、近隣住民だけでなく作業員の安全を図りながら、早期の全面オープンを期待しています。